

日本初！ジャンプロープ世界大会

7月27日から8月3日にかけてカルッツかわさきで、なわとび競技の世界大会「ワールドジャンプロープチャンピオンシップス2025」が開催されました。
(映像：カルッツかわさき外観や会場内の様子など)

日本初開催となるこの大会には、世界各国の予選を勝ち抜いてきた30以上の国と地域から2600名を超える選手たちが川崎に集結。
(映像：速さやパフォーマンスを競う競技シーン)

種目は速さや回数を競う競技部門、音楽に合わせた動きを繰り出すコンテスト部門などです。
(映像：パフォーマンスを競う競技シーン)

大会最終日の8月3日には「ダブルダッチコンテストフリースタイル混合」種目で日本選手が大活躍。
(映像：日本人選手のパフォーマンスしているシーン)

優勝はチーム「ハリボー」、2位はチーム「サムズアップ」と、いずれも日本のチームとなりました。
(映像：日本人選手が記念撮影しているシーン)

大会の最後には、インターナショナルジャンプロープユニオンの旗が、福田市長から次回大会の開催国であるノルウェーに手渡しされました。
(映像：福田市長が次回開催国のノルウェーの代表者に旗を手渡ししている様子)